

STAMP Workbench が使用する JRE を update するための手順書

STAMP Workbench は Java 実行環境 (JRE: Java Runtime Environment) を使用しており、インストールパッケージに JRE を同梱している。同梱した JRE に起因して STAMP Workbench の動作に問題が発生した場合など、JRE を update することによって問題を解決できる可能性がある。本手順書では、インストール済み STAMP Workbench の JRE を利用者自身が update するための手順を下記に記す。

- ★ 本手順を適用できるのは AdoptOpenJDK を同梱した STAMP Workbench Ver2.0.0 であり、oracle JDK を同梱した Ver1.0.2 以前のバージョンへは適用不可であることを注意のこと。

1. 新しい Java をダウンロードする

- 環境にあった Java8 を、例えば次の URL から探す。
<https://adoptium.net/releases.html?variant=openjdk8&jvmVariant=hotspot>
- JRE の zip 版をダウンロードする。
(JRE ではなく、JDK をダウンロードした場合は、JDK に含まれる jre フォルダのみを利用する)

2. 1 でダウンロードした zip ファイルを適当な場所に展開する

3. STAMP Workbench のインストールフォルダー内の jre フォルダを置き換える

- 上書きはせず、例えば、もとの jre フォルダを jre.org とリネームし、2 で展開してできた jre フォルダを jre という名前で同じ場所に配置する。

4. STAMP Workbench を起動する

- ★ STAMP Workbench をアンインストールする場合、3 で作成した jre.org フォルダは、アンインストールでは削除されないため、アンインストール時には併せて手動で jre.org フォルダを削除する必要があります。
- ★ Windows update と同様、JRE の update においても、update することによって新たな問題要因が混入する可能性は有り得ますが、IPA は JRE の update に対する動作確認を行いません。